

デマンドタクシー〈あみまるくん〉のエリア別運行について

①エリア別運行の概要

阿見町をA・B・Cの3つのエリアに分割し、3台のデマンドタクシーにエリア間の移動制限を加えることで、3台の総運行距離が短縮され、運行が効率化されるというシミュレーション結果が提示された。そこで、運行の効率化を図ることを目的に、平成27年3月及び4月の運行を対象に、試験的にエリアを分けて運行した。



	1号車(7台〆8)	2号車(7台〆8)	3号車(7台〆2)
案1	C ⇄ C	A, B, C ⇄ A, B ※C ⇄ C以外	
案2	A ⇄ A A ⇄ C C ⇄ C	B ⇄ B B ⇄ C C ⇄ C	A, B, C ⇄ A, B ※C ⇄ C以外

案1

3台の内1台はC地区のみを運行し、残りの2台は「C地区のみの移動」を制限する運行体制。

案2

A、C地区のみの運行、B、C地区のみの運行、「C地区のみの移動」を制限する運行体制。

②実施結果

- ・3台が町内全域を運行する方式と比較した結果、予約件数への大きな差は確認できなかった。
- ・C地区を運行する号車に予約件数が集中し、短距離を短時間で移動するような運行が重なり、運転手の負担が多くなってしまった。

③考察

- ・現状の予約件数であれば、エリア別の運行を導入しなくても対応が可能。
- ・狭い範囲で多数の予約をこなす運行と、比較的長距離の予約を数件こなす運行では、運転手の負担を考えた場合、巡回距離のみでは評価できない。
- ・今後、1日の予約件数が増加し、予約の不成立の割合が増えてきた場合に、導入可能性の余地はある。